



のブリッジ余談 (第 80 回)

Hi-Lo キュービッド (つづき)

2016.2.19

Aさん「前回からの続きで、1メジャーオープンにマイケルスクュービッドの2メジャーをオーバーコールされたときどう対処するかでしたね」

B先生「1マイナーオープンに対するマイケルスクュービッドにはHi-Lo キュービッドが使えたのですが、今度はオーバーコーラーのもう1つのスートがまだ分かっていないのでHi-Lo キュービッドは使えないという状況です」

Aさん「どのように対処するのですか？」

B先生「基本的にはHiの方のキュービッドすなわちメジャーのキュービッドはオープナーサートのサポートとインビテーション以上の強さを保証することにします」

Aさん「ここまでは同じですね」

B先生「そうです。問題はLoの方のキュービッドができないことです」

Aさん「どうするのですか？」

B先生「もともとLo キュービッドはネガティブダブル相当の意味とインビテーション以上の強さを持っている意味の2つがあることを示していましたね。これができないので仕方が無く自分の持つスートを言うこととなります。ただし示し方は様々な方法が工夫されています」

Aさん「どうするのですか？ただ自分の持つスートをビッドすればいいのですか？」

B先生「基本的にはそうなのですが、問題があります。それは強さの表現の問題です」

Aさん「どう問題なのでしょう？」

B先生「一般に競り合いビッドでは、まずスートフィットしたのかどうかを早く知らせることと、どこまで行くかを決めてもらうための強さの表現をすることの2つが要求されます。これをただ1回のビッドで示せるのが理想ですが、どうしても2回に分けて示さざるをえないことがあります」

Aさん「そうですか？」

B先生「競り合うときには、ゲームを探ることは第一優先ですが、ただパーシャルを競り合いたいだけのときもあります。オープニングスートがフィットしていないときに、オープナーにマイケルスクュービッドで介入されて、フィットを見つけるためにまず自分のスートをビッドするとそれは3レベルになっています。ただ競り合いたいだけならこのレベルで終わりたいのですが、パートナーのオープナーにはどちらかはまだ分かりませんよね。だからパスできません。するとレスポンドがもう一度ビッドするときは4レベルになっているかも知れません。これではただ競りたいだけなのか、ゲームを探しに行っているのか区別が付きません」

Aさん「困りますね、なんかいい方法があるのでしょうか？」

B先生「1つの考えは、ここでトランスファービッドを使うのです。具体的には2NTはクラブを、3Cはダイヤモンドを示します。ただ競り合いだけの時は、パートナーに自分

のスートを言わせてそれをパスすればいいのです」

Aさん「なるほどその後レスポンドがなにかビッドすればそれは強い、つまりゲームを探しているということになるのですね」

B先生「そうです。オープナーはレスポンドがトランスファービッドを使ってきたときに、パートナーがその後パスする可能性があると考えていなければいけません。だからトランスファービッドを使ってきたときに必ずトランスファーを受けてビッドしなければいけないとはいえません」

Aさん「わかりました。さて相手がマイケルスクュービッドを使ってきたときにそのほかのビッドはどのような意味がありますか？」

B先生「まずパートナーのオープンスートがフィットしているとき、たとえば相手が入らなければシングルレイズするようなハンドは3でサポートしますし、プリエンティブに4へレイズするようなハンドはもちろん4へレイズします。あとダブルがあります。

Aさん「ダブルするとどのような意味があるのでしょうか？」

B先生「あとで相手のコントラクトにペナルティダブルを掛けたいという意志の表明です。こちらがオープンスートがフィットしたという意味ではありません。あとでダブルしたいと言うことはフィットしていないということです」

Aさん「ダブルを狙うか、こちらでフィットを探しに行くかどう選択するのでしょうか？」

B先生「これは難しく経験が必要です。ただ言えることは、相手が3レベル以上になったときにしかペナルティダブルを掛けないのがいいです。2レベルでは落とせるかどうか際どくなるのが普通ですから」

Aさん「よく分かりました」